

10月3日・4日

土木研究所自然共生研究センターと長良川周辺の 小わざ魚道を視察しました！

初日は自然共生研究センターを訪問し、実験設備の見学と研究者との意見交換を行いました。同センター内には木曽川支流の新境川から水を引いた3本の実験河川（写真参照）があり、河川・湖沼の自然環境保全・復元のための基礎的・応用的研究を行っています。

はじめに坂本貴啓専門研究員（芥川には数回来られています）の案内で実験河川を視察し、研究内容などの説明を受けました。

このあと研究棟内で、水環境グループ長の萱場祐一さん、芥川俱楽部田口代表の挨拶のあと、坂本さんから「芥川と私」について、林田寿文主任研究員からは「魚の行動から考える魚道の見方」について、小野田幸生専門研究員からは「アユの生息場所評価」について詳しい報告があり、その後意見交換を行いました。これからの芥川俱楽部の活動や魚道づくり、アユの観察にとって非常に有益な内容でした。終わりに芥川俱楽部山崎事務局長から芥川俱楽部の活動内容について報告しました。

2日目は岐阜県、県土整備部河川課の中内淳夫主任技師、牧村尚浩技師の案内で関市上白金地区の農業排水路流末の段差解消部（魚を遡上させるための）や水田魚道の設置状況および幹線排水路の段差解消部を視察しました。色々な工夫がなされ、魚を水路や水田にのぼらせようとする県や地元などの努力を感じました。

最後に岐阜県が管理している河川や砂防施設の魚道の点検・管理状況の例として、郡上総合庁舎の近くの魚道を視察し、担当者と点検を担当しているフィッシュウェイ・サポーターの方から説明を受けました。由良川水系には多くの魚道があり、詳細な点検表をもとに魚道を点検しているとのことでした。芥川の魚道の維持・管理をする上で大変参考になりました。

お世話いただきました自然共生研究センターおよび岐阜県の皆さんに感謝いたします。



センター研究員からの報告



排水路の段差解消部



魚道の維持・管理の説明

これからイベント予定

平成31年2月23日（土）

講座開催（タイトル未定）

場所：高槻市総合センターC1401会議室

時間：午後2時～4時（予定）

平成31年3月23日（土）

淀川・芥川クリーンアップ大作戦

区間：塚脇橋～淀川河川公園（三島江地区）

時間：午前10時～12時（予定）

★詳細は芥川俱楽部のブログをチェックください！

芥川俱楽部では、川づくりや各種イベントと一緒に参加してくれる方を募集しています。

イベント等の情報は芥川俱楽部ブログで、紹介していますので、ぜひご覧ください。

ブログ：<http://akutariv.blog85.fc2.com/> HP：<http://akutagawaclub.web.fc2.com/>

e-mail：akutagawa0726@yahoo.co.jp

あなたと自然が触れ合える芥川の情報誌

芥川ゆめどり



Vol.32
2018年
秋号



清福寺渡り石と魚みちを望む

7月1日

平成30年度定例総会を開催しました！

7月7日の川の日に設立された芥川俱楽部も、多くの方々のご支援・ご協力により14年目を迎えることができました。

今回の総会は、6月に発生した大阪府北部地震の影響で、開催が危ぶまれましたが、7団体の参加およびアドバイザーの摂南大学理工学部の石田裕子准教授にご出席いただき、開催することができました。総会の中で、昨年度の事業・会計報告、そして今年度の事業計画と予算案を審議し、承認されました。また、役員体制についても、昨年と同様の内容で議決されました。

「芥川のアユを上流までのぼらせたい」という思いがきっかけで設立された芥川俱楽部ですが、今では活動範囲も広がり、環境学習や観察会、清掃活動をはじめ、様々な活動を実施しています。これからも、活動を通して、少しでも多くの方に芥川の魅力を伝えることができれば幸いです。



平成30年度定例総会の様子

編集・構成：芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク～愛称：芥川俱楽部～

事務局：NPO法人芥川俱楽部 ホームページ <http://akutagawaclub.web.fc2.com/> ブログ <http://akutariv.blog85.fc2.com/>

平成30年(2018年)11月 発行： 高槻市 都市創造部 下水河川企画課 TEL 072(674)7432

●芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワークは河川整備団体（国（近畿地方整備局）第2号）に認定されています●

～～～「芥川」はみんなの川です 「芥川」をきれいにしましょう ゴミを捨てないようにしましょう ～～～

7月3日、7月19日、8月30日、「水辺の楽校」を開校しました！

水辺の楽校は、子ども達に身近な水辺で魚とりや昆虫採集等を行い、地域の生物環境を学ぶとともに、河川防災学習により、安全に楽しく川に親しんでもらうプログラムで、大阪府茨木土木事務所が高槻市環境緑政課、たかつき市民環境会議水環境保全グループ、芥川俱楽部、高槻市立自然博物館（あくあびあ芥川）と連携して実施しています。今年は、地震や豪雨など度重なる災害に見舞われ、実施が危ぶまれましたが、7月3日に真上小学校4年生82名、7月19日に南平台小学校3年生63名、8月30日に芥川小学校4年生126名を対象に開校しました。

子ども達はたも網を、スタッフはバケツを持って川へ入り、暑さも時間も忘れるほど夢中になって、魚や水生昆虫をとりました。

「まだ魚をとりたい！」との声が数多く聞かれる中、とった魚や昆虫について、あくあびあ芥川の花崎先生やたかつき市民環境会議水環境保全グループの小倉さんから分かりやすい説明があり、子ども達も熱心に耳を傾けていました。アユをはじめ、たくさんの魚や昆虫たちと触れ合えて、子ども達は大満足の半日だったようです。



花崎先生の解説

9月13日 ミズヒマワリパトロールを実施しました！

『2018年度 芥川大橋下流域のミズヒマワリパトロール』を、市民会議水環境保全グループ、芥川俱楽部、国土交通省、高槻市等、市民と行政の共同で実施しました。

パトロールは、右岸、左岸2班に分かれ、堤防上及び高水敷から目視、双眼鏡でミズヒマワリ繁殖の確認を行いました。その結果、15カ所（うち1カ所は閉鎖水路の大群生を含む）の繁殖を確認でき、昨年の繁殖場所と比較すると減少していました。（昨年度23カ所）

減少要因は不明ですが、今年は河川の増水などが多くあり、流失したのではと推測しています。

流失の場合は地下茎が残っているケースがあり、翌年に再生する事が考えられます。

昨年と比べて繁殖場所が減少していましたが、これは駆除のチャンスと見るべきです。この流域は国土交通省の所管ですが、駆除の実績が出ていません。市民レベルで駆除に協力しやすい場所（芥川大橋付近）を共同で駆除を行う事を検討し、国土交通省に働きかけていきたいと考えています。



右岸パトロール

鶴打橋下流にて

9月4日 今年の災害を振り返って

平成30年7月の西日本豪雨と9月の台風21号は高槻市に甚大な被害を及ぼしました。

西日本豪雨では、芥川は普段より2m以上、水位が上昇し、門前橋下流の桜堤公園では、憩いの場となっている河原や飛び石が見えなくなりました。また、台風21号では、暴風が吹き荒れ、芥川上流部では、河川や道路に倒木が多数発生し、河川を塞いだり、道路が通行止めになりました。

平成30年は、6月の大坂府北部の地震に始まり、大雨、台風など災害が多い年となりました。



市道樋田2号線：倒木



普段の芥川



西日本豪雨時の芥川

～アユの遡上調査結果報告～

67日間調査実施、参加者総数は延べ 179人！！

平成24年から実施している芥川大橋上流の魚道での遡上調査も7回目となりました。調査期間は、4月23日から7月1日まで摂南大学の皆様をはじめ関係機関の方々に協力を呼びかけ、ボランティアによる目視調査を行いました。長期間の調査へのご協力ありがとうございました。

目視調査で確認できたアユは5,458尾！！

調査日のうち、最大の遡上日は1,001尾（5月16日）

でした。

今年は、5月中旬にピークがあり、6月の遡上数は少ない年となりました。

芥川の推定遡上数は7,700尾！

遡上数は、7年間で4番目となりました。来年も多くの方の参加をお待ちしております。



アユの調査年度別推定遡上数

調査年度	推定遡上数
平成24年	11,000尾
平成25年	6,300尾
平成26年	2,300尾
平成27年	6,800尾
平成28年	17,000尾
平成29年	8,100尾
平成30年	7,700尾

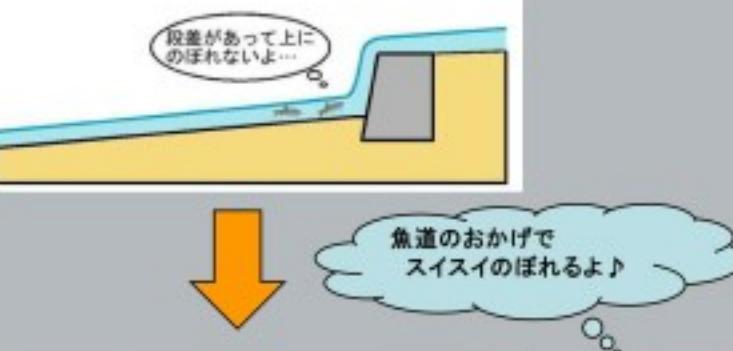
芥川かわまちづくり事業～魚みちが3カ所整備されました！～

現在、高槻市と大阪府で進められている「かわまちづくり事業」について、門前橋から大蔵司橋区間の遊歩道に引き続き、魚みちが3カ所整備されました。

この魚みちは、計画段階から芥川俱楽部の意見を聞きながら、整備を進めたものです。

清福寺落差工の魚みちでは、階段を下りて、飛び石により川を渡ることができ、アユが魚みちを間近で上る姿や泳ぐ姿を見ることができます。

魚道設置前



魚道設置後



今回整備された魚みちにより、アユは、あくあびあ芥川付近までの遡上を確認できました。

芥川の魚みちは、アユの遡上が未永く続くよう、大阪府、高槻市、芥川俱楽部、そして市民が一体となり維持管理を行っていきたいと考えております。

今後も引き続き、揖津峡までアユが遡上できるよう整備を進めていく予定です。



芥川頭首工の魚みち



清福寺落差工の魚道



下井出堰の魚道